

令和6年度 郷荘中学校 教育目標

学校教育目標

「豊かな心」
「たくましい身体」
「確かな学力」

重点課題

・正しい判断のもと、自主的に行動できる生徒
・何事も積極的に行動し、最後までやりぬく生徒
・自他を大切にする、思いやりのある生徒

今年度の具体的方策

授業や学習活動に関する取組み

- ・スクールエンパワメント推進事業の継続（子ども主体の授業づくり）
- ・ユニットテストの実施（学力保障、家庭学習習慣の定着）
- ・生徒用スケジュール管理アプリを活用した自己管理能力の育成
- ・評価についての再検討（指導と評価の一体化）
- ・少人数指導（英語）の継続

※「わかりやすさ」よりも「考える」ための授業準備を！

誰もが安心して過ごせる学校づくりに関する取組み

- ・不登校対応の充実（数の減少のみを目的とせず、自己肯定感、自己有用感を育てる）
- ・子どもが自ら考えて行動する学級・学年活動、生徒会活動、行事、委員会活動
- ・互いを尊敬できる人間関係づくり（支援学級在籍、外国ルーツの生徒を含む）
- ・信頼関係に基づいた生徒指導（その場で指導に従うことだけを目的としない）
- ・ルールメイキング活動の継続と頭髪に関する新しい指導の試行
- ・チーム担任制を意識した学年経営（来年度からの実施を見据えた研究）
- ・「確かな子ども理解」に基づいた日頃の声かけ、相談活動の継続

地域や関係機関との連携に関する取組み

- ・学校協議員制度から学校運営協議会（コミュニティスクール）の移行
- ・地域への学校教育方針の説明、理解と協力の依頼
- ・PTA活動について、実態に応じた活動の見直し
- ・小学校、SC、SSW、市子育て支援室、子ども家庭センター、警察等との連携

教職員の働き方改革に関する取組み

- ・時程の見直しとそれに伴う完全下校時間の変更、懇談の工夫
- ・ユニットテストの導入によって生じる給食のない日の配置の工夫
- ・国のガイドラインに準拠した部活動

以上についての検証方法

- ・社会性測定用尺度
- ・授業アンケート
- ・各種調査の結果
- ・学校教育診断
- ・不登校生徒数や個々の生徒の状況
- など

**生徒も教職員も、これからの郷荘中学校のあり方を形づくる当事者です。
当事者意識をもって、生徒のみなさんがより成長できる学校を、ともにつくっていきましょう！**

